



大分県開催<とり天ラウンド>

H26.11.23(Sat)

ホルトホール大分

平成26年度第4回九州ネットワーク研究会「とり天ラウンド」が大分県で開催されました。第53回九州地区学校体育研究発表大会（大分大会）の翌週開催となりましたが、県外から7名、県内から15名、合計22名の方々の参加をいただき、大変内容の濃い、充実したラウンドとなりました。

### 1 トピックス：国内外の教育最新事情

佐藤豊先生から、①イギリス・オリンピック後の学校体育の動向、②新しい学習指導要領の方向性、③タブレットを使った授業の可能性について、説明をいただきました。国際化の中で多様なことを認めつつ日本らしさを生かしていくために、「体育を通して何ができるか」を考える機会となりました。

### 2 九州学体研振り返り「体づくり運動」

各校種同じ研究テーマを設定して取り組んだ「体づくり運動」について、授業のダイジェスト映像を交えて報告を行いました。その後、授業の成果や課題を踏まえて、校種別にグループ協議を行いました。協議では、日頃から体づくりの授業において疑問に感じる内容について、多くの意見が出されました。



「体づくり運動」では、指導者の意識向上が必要であること、指導する中で小1～高3までの系統性を理解しゴールイメージを持ったうえで授業をつくること、運動量を示す資料・学習ノートの工夫が必要であることなどが確認されました。

### 3 情報提供： 「体づくり運動の授業について」



佐藤豊先生から、「体づくり運動」についての情報提供と、実生活・実社会への学習成果の広がり期待した授業づくりについて、まとめていただきました。同じ「体づくり運動」という領域に、①動きをつくる、②要素を知る、③自分に合ったものを探す、という3つの別の内容が同じ軸の中で発していることを踏まえた授業づくりのポイントを学ぶことができました。また、生涯にわたって運動に親しむための力をつけつつ、最終的には「生きる力」につながっていくような授業の在り方の示唆をいただきました。

九州学体研に向けて各校種における研究の取組を共有したり、とり天ラウンドで情報交換をしたりすることにより、12年間を見通した指導の在り方や校種間の接続の大切さが再確認できました。今回を足がかりとして、大分県の体育・保健体育のさらなる発展を目指します。関係者の皆様ありがとうございました！